


部品の交換・購入について

- 損傷した場合は、新しい部品と交換（有料）してください。
- お買い求めの際には、製品の型名をご確認のうえ、お買い上げの販売店でお求めください。（ホームページでのご購入は下記のお客様ご相談窓口参照）

部品名	部品番号
おかず容器セット	BB264805L-〇〇
おにぎり容器セット	BB461801L-〇〇
せんセット	S69-〇〇
弁パッキン	BB412006M-00
せんパッキン	BS140008M-00
飲み口セット（飲み口・飲み口パッキン）	BB460808L-01
ポーチ	BB461003N-〇〇
ステンレスボトル用洗浄剤 ピカボトル(10g×4包入り)	SB-ZA01-J

〇〇表示は部品色柄記号です。
お求めの際は製品の色柄記号
までご指定願います。
(底面シールに表示)

<表示例>
SW-SA26  +色柄記号

- 弁パッキン・せんパッキン・飲み口セット（飲み口・飲み口パッキン）は消耗品です。1年を目安にご確認ください。
- せんなどの樹脂は、食品衛生上安全な材料を使用していますが、ザラザラしてきたり、損傷してきた場合は新しい部品に交換（有料）してください。

お客様ご相談窓口

修理・お取り扱い・消耗品や部品のご購入などのご相談は、まずお買い上げの販売店にお問い合わせください。ご転居やご贈答品などでお困りの場合は、弊社の窓口「お客様ご相談センター」にお問い合わせください。所在地・電話番号などは変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

お客様ご相談センター  **0570-011874**

ナビダイヤル 市内通話料金でご利用いただけます

受付時間 9:00～17:00 月曜日～金曜日（祝日・弊社休業日を除く）

- 携帯電話・PHS・IP電話など（ナビダイヤルが利用できない電話）でのお問い合わせ……………Tel (06) 6356-2451
 - ファクシミリでのお問い合わせ……………Fax (06) 6356-6143
- 製品の「型名・お問い合わせ内容」と、お客様の「お名前・ご住所・電話番号・Fax番号」をご記入のうえ、お問い合わせください。

〒530-0043 大阪市北区天満1丁目19番9号

お客様からご提供いただく「お名前・ご住所・電話番号など」は、製品のアフターサービスおよびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

■ホームページのご案内

部品・消耗品・別売品のご購入専用ページ <http://www.zojirushi-de-shopping.com/>

象印マホービン株式会社

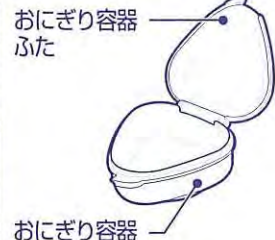
 **ZOJIRUSHI**

家庭用

ステンレスフードジャー SW-SA型 取扱説明書

各部のなまえ

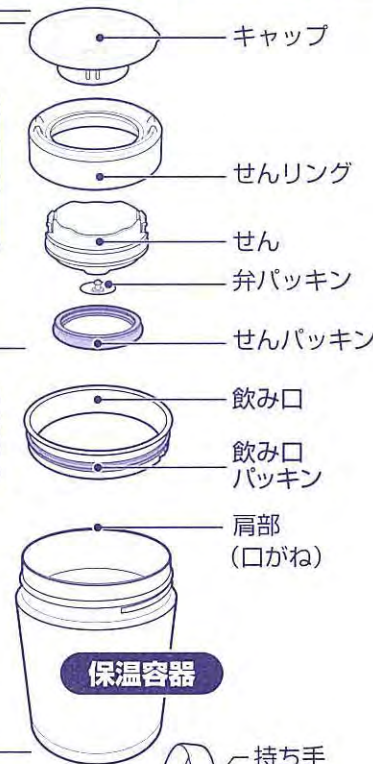
おにぎり容器セット



おかず容器セット



保温容器セット



せんセット

飲み口セット

持ち手

ポーチ

引き手

※内容器は銀イオン(Ag⁺)を配合したAg⁺抗菌加工内容器です。

試験機関：社団法人 京都微生物研究所
対象場所：おかず容器・おにぎり容器
おにぎり容器ふた

試験方法：JIS Z 2801に基づき
抗菌効果を確認済み

試験結果：99.9%の抗菌効果
(試験番号 0803-8109, 0803-8110)

- お買い上げの商品とこの取扱説明書に記載したイラストは異なることがあります。

ご使用前に必ずお読みください。そして大切に保管してください。

必ずお守りください

●ご使用になるときは、やけどや飲食物の変質・変色や製品の故障・汚れを防ぐために次のことは必ずお守りください。

乳幼児には使用させない。また、乳幼児の手の届くところには置かないやけどやけがなど危険です。

ストーブやコンロなど火のそばに近づけない

変形や変色の原因になります。

直射日光のあたる場所には長時間放置しない

変色する原因になります。

改造や分解修理はしない

故障や事故の原因になります。

製品の横置きはしない

飲食物が漏れる原因になります。

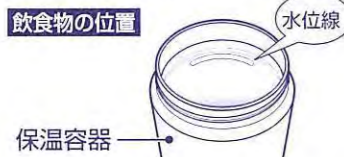
保温性能が低下した製品は使用しない

熱い飲食物を入れると保温容器外側が熱くなり、やけどの恐れがあります。

飲食物は水位線より少なめに入れる

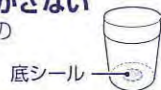
入れすぎてせんセットを閉めると、飲食物があふれる原因になります。また、あとから漏れ出すことがあります。

飲食物の位置



保温容器外側の底に貼っている底シールは絶対にはがさない

さびや穴あきなど故障の原因になります。



熱い飲食物を入れた場合

●保温容器を振らない
やけどやけがなど危険です。

●使用する際にやけどの恐れがあるので注意する

断熱効果により、熱い飲食物を入れても保温容器外側は熱くなりません。

●せんセットのキャップはつけたまま使用する

せんセット内側が熱くなっており、やけどやけがなど危険です。

せんセット・各容器のふたは確実に閉めて使用する

飲食物が漏れて、やけどをしたり衣服を汚す恐れがあります。

キャップ・せんリング・せん・弁パッキン・せんパッキン・飲み口パッキンは必ずつけた状態で使用する

漏れてやけどなどの恐れがあります。また、汚れの原因になります。

自動車走行中は使用しない

やけどをしたり、車内や衣服を汚す原因になります。また運転者の場合、運転への注意が散漫となり、非常に危険です。

ポーチの持ち手を持って振り回さない

けがや損傷など危険です。

ポーチの引き手を持って持ち運ばない

故障の原因になります。

保温容器を電子レンジで加熱しない

火花が飛び危険です。また、変形や変色の原因になります。

電子レンジでおかず容器・おにぎり容器の飲食物を加熱するときは次の点を守る

●おかず容器のふたははずしてから、おにぎり容器のふたは右図のように開けてから加熱する
ふたをしたまま加熱すると変形や破損の原因になります。



●複合電子レンジのオープン・グリル機能で使わない
他の料理でオープン機能やグリル機能を使用したあとレンジで加熱する場合は、庫内が冷めてから使用する 容器が変形し故障の原因になります。

●おかず容器・おにぎり容器を電子レンジで空だきしない
容器が変形し故障の原因になります。

●油類、糖分の多い食品を長時間加熱しない 高温になり容器が変形し故障の原因になります。

乳製品を含む飲食物や冷製スープは、必ず一度加熱調理をしたものを入れる

また、おかず容器・おにぎり容器には乳製品を含む飲食物を入れない。

腐敗することがあります。

飲食物の保温・保冷以外に使用しない

飲食物を入れての保温や保冷を目的としたものです。

おかず容器・おにぎり容器にスープ類を入れない

飲食物が漏れる原因になります。

おかず容器やおにぎり容器に、炊き込みごはんや焼き飯など、具や調味料を加えて炊いたごはんは入れない

腐敗の原因になります。

飲食物は、できるだけ早く(6時間以内)食べる。このとき、飲食物は一度に食べきる腐敗の原因になります。

飲食物を長時間保存しない 腐敗の原因になります。

また、おかず容器・おにぎり容器には生ものや乳製品など変質・腐敗しやすい物は絶対に入れない 腐敗ガスの圧力で、容器が破損や変形する原因になります。

保温容器には次の物は絶対に入れない

●ドライアイス・炭酸飲料など

保温容器内の圧力が上がり、飲食物がふき出たり、せんセットが破損して飛散することがあり危険です。

●生もの(加熱・塩漬していない肉・魚介類・乳製品)など

成分が腐敗することがあります。そのまま長く放置した場合は腐敗によりガスが発生し、保温容器内の圧力が上がり、飲食物がふき出たり、せんセットが破損して飛散することがあり危険です。

保温容器にサラダや果物を入れる場合は下記の注意点を必ずお守りください

●サラダや果物は、購入したばかりの新鮮なものを使用し、使用する前に流水で十分洗浄する

●調理前の手洗いは十分に行う

●肉や魚などを使った包丁、まな板は使用しない。使用する場合は殺菌処理してから使用する

●サラダや果物をカットし、冷蔵庫で十分冷やしてから保温容器に入れる

長時間の保温・保冷は避け、使用したあとはすぐに保温容器・せんリング・せん・弁パッキン・せんパッキン・飲み口・飲み口パッキンをよく洗う

外出時など十分なお手入れができないときでも、使用したあとはすぐに保温容器内側を水でよくすすぐ。

●保温容器はステンレスですが、みそ汁・スープ・スポーツ飲料などの塩分により、さびたり、保温・保冷性能が低下する原因になります。

●腐敗によりガスが発生し、保温容器内の圧力が上がり、せんセットをはずすときにせんセットが飛んだり、飲食物がふき出たり、せんセットなどが破損して飛散することがあり危険です。

●腐敗・カビ発生・におい移り・変色の原因になります。また飲食物が漏れる原因になります。

お手入れの際は次のことを守る

●シンナーやベンジン・金属たわし・研磨材入りたわし・みがき粉・クレンザーなどは、使用しない 製品を損傷する原因になります。

●塩素系漂白剤は使用しない

さびや穴あき(保温容器内側)など故障の原因になります。

●煮沸はしない。また食器洗い乾燥機や食器乾燥器などは使用しない 傷やさび・変形など故障の原因になります。

●丸洗いができますが、つけ洗い(水中に放置)はしない

ご注意とお願い

落とす、ぶつけるなど強い衝撃を与えない
樹脂部分が破損したり、ステンレス表面がへこみ保温・保冷性能が低下することがあります。

保温容器の絵柄をつめや固いもので
ひっかいたり、こすったりしない
はがれる原因になります。

洗淨したせんセットは、分解した状態で
水が残らないよう数回振り、ふき取る
キャップとせんセットの間に水が残っている
ことがあり、残ったしずくが漏れてくる
ことがあります。
(分解方法P.9参照)

せんセットや飲み口セットを持って運
ばない
落とすと危険です。

製品は必ず専用ポーチに入れる
専用ポーチを使用しない場合、保温効力が
下がる原因になります。

においの強いものや色素の濃いおかず類など（カレー・キムチ・たくあんや、しそ・ほうれん草・にんじんなどの有色野菜）を入れると、におい移りおよびせんセットやおかず容器が変色する原因になります。
おかず容器へ入れる際はラップフィルムやクッキングホイルに包んで入れてください。

- 保温容器を立てた状態で、せんセットを開閉してください。
- バッグなどに入れるときは、万一の漏れを防ぐために、製品を縦に置いてください。



熱い飲食物を入れた場合、保温容器内の圧力が上がり、せんセットをはさず際に固くなる場合があります。そのときは、キャップをはずし、せん中央部の穴をつまようじのうしろなど先のとがっていない棒で弁パッキンを破らないようにつき、内圧を抜いてください。(右図参照)



缶やびんなどを保温容器に入れない
変形し、故障の原因になります。

熱いやかんを飲み口や肩部(口がね)に
触れさせない
転倒してやけどなどの危険があります。
また傷や変形の原因になります。

氷が大きくて入らない場合は、
あらかじめ小さく砕いてから入れる
無理やり押し込んだり、たたいたりすると、
変形し、故障の原因になります。

製品専用の部品以外は取りつけない
漏れや故障の原因になります。

ポーチは洗濯機で洗ったり、水洗いは
しない
生地が傷んだりコーティングなどがはがれる
原因になります。

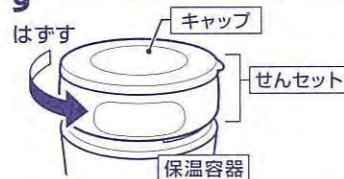
ポーチは通気性の良い場所に保管する
湿度の高い状態はシワの原因になります。

使い方

●ご使用前にせんセット、飲み口セット、各容器、保温容器 内側をぬるま湯で十分に洗ってください。

1 保温容器からせんセットをはずす

キャップだけをはずさず、せんセットを矢印の方向に回し、はずしてください。



2 予熱 (予冷) する

- ①保温(保冷)効果をあげるために、あらかじめ保温容器に熱湯(冷水)を入れ、1～2分温める(冷やす)
- ②予熱(予冷)後はその湯(冷水)を捨て、水気をふき取る

3 保温容器に飲食物を入れる

- 飲食物を入れすぎて、せんセットを閉めるとあふれたり、あとから漏れ出すことがあります。飲食物は水位線より少なめに入れてください。



- A部(水位線より上の部分)に飲食物が付いている場合は、きれいにふき取ってください。(せんセットを閉めた場合に、飲食物が漏れる原因になります。)
- 十分に熱い(冷たい)飲食物を入れてください。



4 せんセットを閉める

- キャップ・弁パッキン・せんパッキンが正しく取り付けられていることを確認の上、ご使用ください。(飲み物が漏れる原因になります。)
- せんセットは、保温容器を立てた状態で確実に閉めてください。
- 保温容器を逆さにして漏れのないことを確認してください。漏れた場合は「P.15 Q&A」参照
- せんセットのキャップは、必ずつけた状態でご使用ください。



5 おかず容器におかずを入れる

- ①おかず容器ふたは、ふたの端部から押し上げるようにして開け、おかずを入れる
- ②おかず容器ふたとおかず容器のふちをかみ合わせながら、中の空気を押し出すように閉める



6 おにぎり容器にご飯を入れる

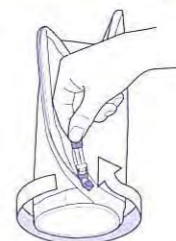
- ①おにぎり容器ふたは、先端のツメを上下にひねるようにして開け、ラップを敷いてからご飯を入れる
- ②ラップをご飯にかぶせ、おにぎり容器ふたを閉める

- おにぎり容器にご飯を入れる時は、ラップなどを使用し、直接入れない(漏れや汚れの原因になります。)
- また、しゃもじなどを使用し、ご飯に直接手で触れない(ご飯が変質・腐敗する原因になります。)
- おにぎり容器はご飯専用です。
- ご飯を入れる量(目安): 約110g
- おにぎり容器ふたが閉まりにくい(または閉まらない)場合は、ご飯の量を減らすか、おにぎり容器ふたを開けた状態でご飯を上から押さえてください。



7 ポーチに入れる

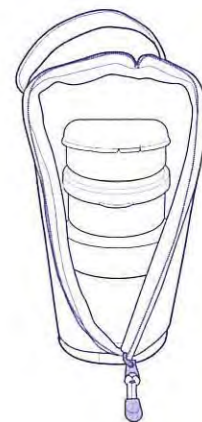
- ①ポーチの底の部分までファスナーを閉じる



- ②必ず 保温容器セット、おかず容器セット、おにぎり容器セットの順番を守って右図のようにポーチに入れる

- 転倒しないようにポーチを手で支えながら各容器を出し入れしてください。
- 各容器セットはふたを上側にして傾かないようにポーチに入れてください。

- ③最後までファスナーを閉じる

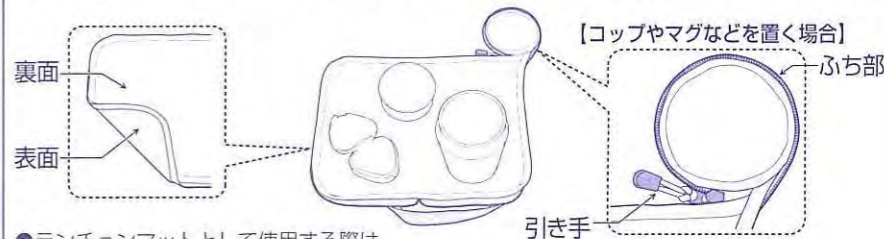


各容器の取り出し方

ポーチを立てた状態で、ファスナーを7①の部分まで開けて、おにぎり容器セット、おかず容器セット、保温容器セットの順に取り出してください。

ランチョンマットとして使用する場合

ポーチのファスナーをすべて開けるとランチョンマットとして使用することができます。



- ランチョンマットとして使用する際は、ポーチの裏面に容器をのせてください。
- 平らで水平な場所に広げて使用してください。

※引き手やふち部に容器が乗り上げないように置いてください。

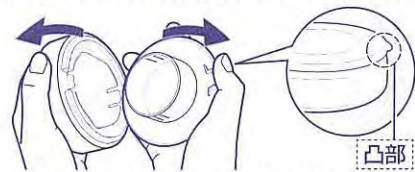
部品の分解・組立方法

●キャップ・せんリング・せん・弁パッキン・せんパッキン・飲み口・飲み口パッキンは、正しく取りつけてください。
(作動不良・飲み物が漏れる原因になります。)

■せんセット

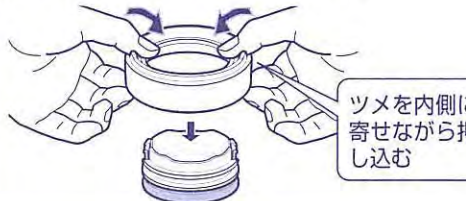
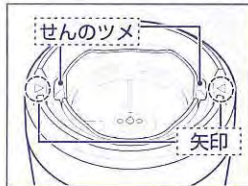
1 せんセットを保温容器からはずす

2 キャップを取りはずす
キャップの凸部に指をかけ矢印方向へ取りはずします。



3 せんをはずす

せんのツメを中心にに向かって押さえてはずします。
(せんのツメを△△に合わせると、よりはずしやすくなります。)



4 弁パッキンを取りはずす

弁パッキンは、せんの中央についています。はずすときは、図のように弁パッキンをつまみはずしてください。

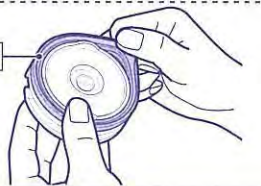
弁パッキンを取りはずす時は、つめの先などで破らないようご注意ください。

●せんセットは断熱構造のため、空間を設けていますので、キャップをはずし、内部もお手入れしてください。



5 せんパッキンを取りはずす

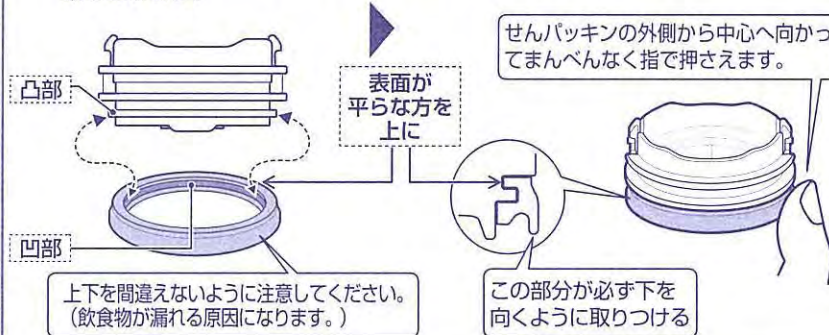
せんパッキン



■せんセット

1 せんパッキンを取りつける

せんパッキンの凹部とせんの凸部を合わせ、周囲から押し込むようにして取りつけてます。

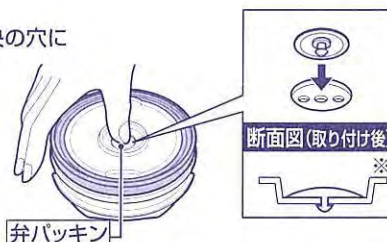


2 弁パッキンを取りつける

図のように弁パッキンの凸部をせん中央の穴に奥まで確実に押し込んで取りつけてます。

●正しく取り付けないと飲食物が漏れる原因になります。

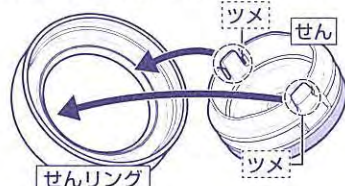
※実際には穴は3つあります。中央の穴に取りつけてください。弁パッキン



3 せんをせんリングに取りつける

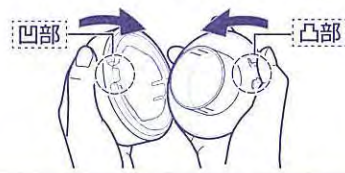
せんのツメ(2カ所)をせんリングに押し込み、取りつけてます。

●このとき、両方のツメが確実にかかっていることを確認してください。



4 キャップを取りつける

キャップ裏側の凸部をせんリングの凹部に合わせて、確実に取りつけてください。



組立方法(分解方法はP.9参照)

■飲み口セット

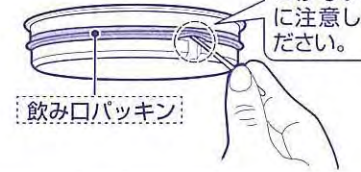
分解方法

1 飲み口セットを図のように保温容器からはずす



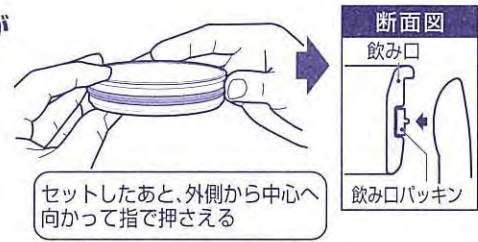
2 飲み口パッキンをつまようじなどを使って取りはずす

パッキンを傷つけないように注意してください。



組立方法

1 飲み口パッキンの凸部が外側になるように、飲み口の溝に確実に取りつける



セットしたあと、外側から中心へ向かって指で押さえる

2 飲み口セットを少し回しながら保温容器に確実に押し込む



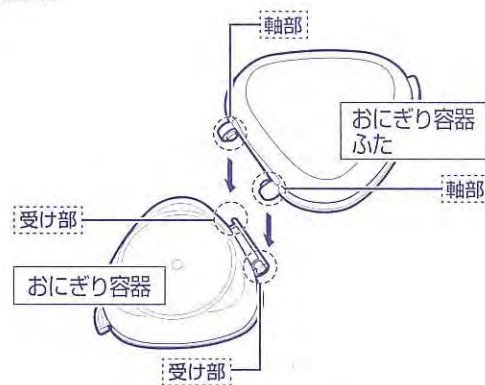
●パッキンを取りつけ後、ねじれたり、ふくれた箇所のある場合は指先で均等になるよう正しく直してください。
●飲み口パッキンおよび飲み口セットを正しく取り付けないと、くちびるや手をはさむことがあり、危険です。また、せんセットが閉まりきらず、飲食物が漏れる原因になります。

■おにぎり容器セット

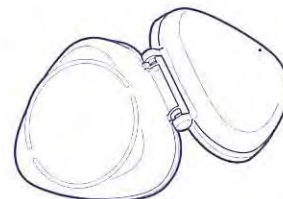
組立方法

おにぎり容器ふたがはずれた時は、次の手順で取りつけてください

①おにぎり容器の受け部(2カ所)におにぎり容器ふたの軸部(2カ所)を片側ずつ差し込む。



②片側ずつカチッと音がするまで確実に取りつける。



お手入れ

●においや汚れの付着、カビ発生を防ぎ、いつまでも清潔にご使用いただくために、ご使用後は必ずお手入れをしてください。

●必ず分解してからお手入れをしてください。(P.9~12参照)

保温容器セット	<p>①ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤をスポンジに含ませて洗う。 ②すすぎ洗いのあと、数回振り、水気をふいてよく乾燥させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●せんセット・飲み口セットは、弁パッキン・せんパッキン・飲み口パッキンをはずしてから洗ってください。 ●せんセット・飲み口セットはすべて分解した状態で乾燥させてください。 ●お手入れ時、せんセット・飲み口セットを分解したあとは、元どおりに正しく組み立ててください。(P.10,11「組立方法」参照) 飲食物が漏れる原因になります。
おかず容器セット おにぎり容器セット	<p>ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤に浸して洗い、水気をよくふいて乾燥させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●乾燥の際は、ふたをしなくて乾燥させてください。
ポーチ	<p>ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤を柔らかい布に含ませて絞り汚れをふき取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ポーチの内面には、はっ水加工生地を使用しておりますが、防水ではありません。はっ水性は使用しているうちに低下します。また生地に傷がついたりすることで、はっ水性が低下する場合があります。 ●エタノールやアルコールを含む洗剤は使用しないでください。

お手入れ時の注意

●煮沸はしないでください。また食器洗い乾燥機や食器乾燥器などは使用しないでください。

●保温容器外側は、漂白剤を使用しないでください。

保温容器の塗装、印刷、シールがはがれる原因になります。

●長期間ご使用にならない場合は、ぬるま湯か水で十分洗い、よく乾燥させて高温・多湿を避け保管してください。

製品を損傷する原因になります。

●シンナーやベンジン・金属たわし・研磨材入りたわし・みがき粉・クレンザーなどは、使用しないでください。

●塩素系漂白剤を使用しないでください。

●丸洗いができますが、つけ洗い(水中に放置)はしないでください。

●保温容器を丸洗ったあとは、必ず水分をふき取るようにしてください。
水滴のあとやさびが発生する原因になります。

●キャップとせんセットの間にたまっている水は、必ずふき取るようにしてください。



赤さび状の斑点や水アカなどのお手入れ

使用中、水質や不純物などにより保温容器内側に赤さび状の斑点が出たり水アカが付着することがあります。このような場合は、食酢を約10%加えた湯を入れ、せんセットを取りつせずに30分~1時間置いたあと、保温容器内側をよく洗ってください。(P.13~14「お手入れ」参照)

においがついた場合の処置

長時間、汚れたままで置いたり洗い方が不十分な場合、いやなにおいが発生したり、樹脂が変色します。においがついてしまった場合は、次のように処置してください。

保温容器・キャップ・せんリング・せん・飲み口	十分に洗ったあと、水気をふき取り風通しの良い場所に置き、日光で1~2時間乾燥させる。においが落ちにくい場合はピカボトルをご利用ください。(P.16参照)
弁パッキン・せんパッキン・飲み口パッキン	食酢を約10%加えた湯の中に入れ10分間煮沸し、すすぎ洗いのあと水気をよくふいて乾燥させる。
おかず容器セット・おにぎり容器セット	十分に洗ったあと、水気をふき取り風通しの良い場所に置き、日光で1~2時間乾燥させる。

仕様

品番		SW-SA26
実容量	保温容器	0.26L
	おかず容器	0.19L
	おにぎり容器	0.13L

Q&A

症状	原因	処置
飲み口セットやせんセットから飲食物が漏れる	弁パッキン・せんパッキン・飲み口パッキンが正しく、しっかり取り付けられていますか?	弁パッキン・せんパッキン・飲み口パッキンの取り付け位置や方向、浮きがないことを確認してください。(P.10,11参照)
	せんリング・せん・弁パッキン・せんパッキン・飲み口・飲み口パッキンが汚れていませんか?	お手入れをしてください。(P.13,14参照)
	飲食物を入れすぎていませんか?	少量の飲食物を捨ててください。(P.2「飲食物の位置」参照)
	キャップとせんセットの間に洗浄時の水がたまっていますか?	キャップとせんセットの間にたまっている水をふき取ってください。
飲食物(保温容器内側・せんセット・飲み口セット)がにおう	飲食物を長時間入れたままにしたり、保温容器内側、せんセットや飲み口セットに汚れが付着していませんか?	お手入れをしてください。汚れが落ちにくい場合はピカボトルをご利用ください。(P.16参照)
保温(保冷)が効かない	十分に熱い(冷たい)飲食物を入れていませんか?	十分に熱い(冷たい)飲食物を正しい量まで入れてください。(P.6「飲食物の位置」参照)
	予熱(予冷)していますか?	予熱(予冷)してください。(P.6「2使い方」参照)
製品を振ると「シャカシャカ」という音がする	保温/保冷効果を高めるために、保温容器内部に入れている銅箔(アルミ箔)がこすれて出る音です。異常ではありません。	